

法学部教育課程編成の方針

教育課程の編成と特色

法学科

法学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間を「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法（基礎文献講読）」、言語教育科目等で構成し、法学科での学修に必要な基礎学力を身につけ、専門科目を学ぶための基礎的な知識と思考力を育成する。それと並行して、憲法、民法、刑法などの基礎的な専門科目を学修する。なお、NEXUS プログラムでは、標準 0.5 年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間に加え、言語 A および言語 B における日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。
- ・形成期は、基礎となる科目の学修を進めるとともに、法社会学や法哲学、政治学の諸科目や「多彩な学び」を履修することで、社会の動きや出来事を法や政治の観点から捉える力を育成する。また、行政法、労働法、国際法などの専門的な科目の学修し、社会的な問題を分析し、どのような解決をはかっていくべきかを考え、よりよい社会を構想するために必要な知識と思考力を育成する。
- ・完成期は、専門的な科目に加え、環境法などの発展的な科目を学修し、法と制度の運用方法についての理解を深めつつ、専門科目毎の演習を通じてよりよい法、制度、そして社会の在り方について構想する思考力を磨き上げる。

国際ビジネス法学科

国際ビジネス法学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間を「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法（基礎文献講読）」、言語教育科目等で構成し、国際ビジネス法学科での学修に必要な基礎学力を身につける。また、憲法、民法、刑法という基礎となる科目の学修もはじめる。なお、NEXUS プログラムでは、標準 0.5 年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間に加え、言語 A および言語 B における日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。
- ・形成期は、基礎となる科目の学修を進めるとともに、法社会学や法哲学、政治学の諸科目や「多彩な学び」を履修することで、法や政治をさまざまな側面で見つめる目を養う。また、国際ビジネス法総合基礎・IA、商法、知的財産法、国際法などの専門的な科目の学修もはじめる。
- ・完成期は、専門的な科目に加え、国際ビジネス法総合 IB・2 などの発展的な科目を学修し、法と制度の運用方法についての理解をさらに深める。また、専門科目毎の演習では、法的思考能

力を磨き上げる。
国際ビジネス法学科グローバルコース
<p>国際ビジネス法学科グローバルコースの教育課程は、学士課程における修業年限4年間で「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法 (Legal Presentation、Legal Writing)」、言語教育科目等で構成し、国際ビジネス法学科グローバルコースでの学修に必要な基礎学力を身につける。また、Introduction to Legal Studies、Contract、Negotiation Basics という基礎となる科目の学修もはじめる。 ・形成期は、基礎となる科目の学修を進めるとともに、PEACE 選択科目の諸科目や「多彩な学び」を履修することで、法や政治をさまざまな側面で見つめる目を養う。また、Corporate Law、International Business Law などの専門的な科目の学修もはじめる。 ・完成期は、専門的な科目に加え、IP Law、Cross-Border Litigation などの発展的な科目を学修し、法と制度の運用方法についての理解をさらに深める。また、Advanced Legal Writing、専門科目毎の法政外国語演習では、法的思考能力及び発信力を磨き上げる。
政治学科
<p>政治学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間で「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法 (基礎文献講読)」、言語教育科目等で構成するほか、政治学入門・欧州政治思想史など基礎となる科目の学修をはじめ、政治学科での学修に必要な基礎学力を身につける。また、法政ゲートウェイ講義等で、大学入学までの知見を大学での学修、さらには卒業後の社会での活動にどのようにつなげていくのかを考えながら、法学・政治学の学修を進めることができるよう配慮している。なお、NEXUS プログラムでは、標準 0.5 年間 [1 学期間] の日本語集中履修期間に加え、言語 A および言語 B における日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。 ・形成期は、基礎となる科目の学修を進めるとともに、現代政治理論や国際政治、行政法をはじめとする法学の諸科目や「多彩な学び」を履修することで、法や政治をさまざまな側面で見つめる目を養う。また、ヨーロッパ政治論、日本政治史、政治過程論などの専門的な科目の学修もはじめる。 ・完成期は、専門的な科目に加え、地方自治・日本外交論・財政学・社会政策論などの発展的な科目を学修し、現実政治のあり方や、法と制度の運用方法についての理解をさらに深める。また、専門科目毎の演習では、法や政治に関わる思考能力を磨き上げる。